

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年10月29日(2015.10.29)

【公表番号】特表2014-531205(P2014-531205A)

【公表日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-065

【出願番号】特願2014-530196(P2014-530196)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/24 (2006.01)

C 1 2 Q 1/34 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 9/24

C 1 2 Q 1/34

C 1 2 P 21/08

G 0 1 N 33/53 N

C 0 7 K 16/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月4日(2015.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 配列番号1のアミノ酸配列、又は

(b) 配列番号1のうち少なくとも810個の連続したアミノ酸の領域にわたって配列番号1のアミノ酸配列と少なくとも95%の同一性を有し、かつ配列番号1のアミノ酸配列からなるポリペプチドのエンドグリコシダーゼ活性を有する、そのバリエーションを含む単離されたポリペプチド。

【請求項2】

配列番号1のアミノ酸配列からなる請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項3】

請求項1又は2で定義するポリペプチドをコードする配列を含むポリヌクレオチド。

【請求項4】

(i) 配列番号3又はその相補的配列、

(ii) (i) で定義する配列とストリンジェントな条件下でハイブリダイズする配列、

(iii) (i) 又は(ii) で定義する配列に対する遺伝暗号の結果として縮重する配列、

(iv) (i)、(ii) 又は(iii) で定義する配列と少なくとも60%の同一性を有する配列、又は

(v) (i)、(ii)、(iii) 又は(iv) の配列のいずれかの断片であって、配列番号1のポリペプチドのエンドグリコシダーゼ活性を有するポリペプチドをコードする断片を含む、ポリヌクレオチド。

【請求項 5】

請求項 3 又は 4 で定義するポリヌクレオチドを含む、発現ベクター。

【請求項 6】

請求項 1 又は 2 で定義するポリペプチドとともに糖タンパク質をインキュベートすることを含む、糖タンパク質のグリカンを加水分解する方法。

【請求項 7】

請求項 1 又は 2 に記載のポリペプチドとともに糖タンパク質をインキュベートし、生成された産物を分析することを含む、糖タンパク質のグリコシル化状態を評価する方法。

【請求項 8】

(a) 糖タンパク質を前記ポリペプチドと接触させて、該糖タンパク質のグリカンを加水分解する工程、

(b) 脱グリコシル化タンパク質からグリカンを分離する工程、

(c) そうして生成されたグリカン及び / 又は脱グリコシル化タンパク質を分析する工程

を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

糖タンパク質が、IgG抗体又はモノクローナルIgG抗体を含む、請求項 6 ～ 8 のいずれか一項に記載の方法。